

14世紀初頭南仏における「カタリ派」と民衆について

大阪公立大学文学部文学研究科哲学歴史学専攻西洋史学専修

博士後期課程3年小森紗季

研究の背景

研究対象:14世紀初頭に「カタリ派」の信者として異端審問にかけられた被告人たち
→「カタリ派」がカトリック教会・異端審問側のレッテル張りであると指摘され、
「カタリ派」という呼称そのものにも疑問が呈されている

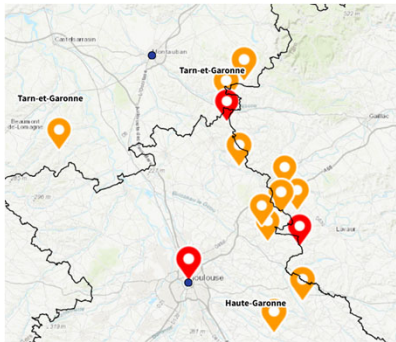
↓

- 被告人たちはどのような経緯で「カタリ派」に接触したのか
- 被告人たちは「カタリ派」をどうみなしていたのか

研究地域

研究地域:トゥールーズ東部地方(現在のオート・ガロンヌ(Haute-Garonne), タルン(Tarn)の県境)に位置する村落・都市共同体

→「カタリ派」の最終伝播地域であり、当時のカタリ派布教者の出生地(ピレネー山脈近く)から離れた地域



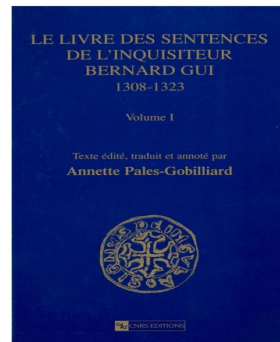
Géoportailを利用して報告者が作成。

史料

ベルナル・ギィ著『判決集(Liver Sententiarum)』
14世紀初頭トゥールーズで異端審問官として活躍した
ベルナル・ギィが行った20回の判決言い渡しの

内容を記載したもの

→被告人の供述が不完全ながら残る



Persée, Le livre des sentences de l'inquisiteur Bernard Gui, 1308-1323, Volume 1.
Texte édité, traduit et annoté – Persée, 2025/10/25 8 : 51最終閲覧

史料調査

以下の3文書館での史料調査

1. オート・ガロンヌ県文書館(Archives départementale de la Haute-Garonne)
2. タルン県文書館(Archives départementale du Tarn)
3. タルン・エ・ガロンヌ県文書館(Archives départementale de Tarn-et-Garonne)

→13世紀末から14世紀にわたって研究対象地域を支配していた領主の記録集や1317年の司教区改変に関する史料を入手

Archives départementales de Tarn-et-Garonne,
http://www.archives82.fr/fileadmin/medias/actualites/actualites-departementales/images/Actualites/Sliders/Illustration-01_Saume_ouverte.png, 2025/10/25 8 : 49最終閲覧。



結論

- 当該地域において「カタリ派」布教に積極的に協力した人数

<血縁関係や地縁から「カタリ派」布教に巻き込まれた人数

- 積極的な協力者は布教者の物資の支援や住居提供、道案内など様々な方法で布教者を支援

↓

- 「カタリ派」に巻き込まれた人の中には「カタリ派」信仰について否定する者もいた
⇒どちらの人々にも「カタリ派」が異端者であるという認識は持っていた

今後の課題

なぜこの地域で「カタリ派」が広まったのかを明らかにする

→政治背景、異端審問制度の在り方や被告人たちの貴賤について理解を深める

⇒次の2点について考察したい

- 当時の人々がどのように生きていたか
- 「自身と異なるもの」に対してどのようなとらえ方・見方をしていたのか

参考文献

- A. Pales-Gobillard[éd et trad.], *Le livre des sentences de l'inquisiteur Bernard Gui, 1308-1323*, Paris, 2002.
- A. Brenon, *Le dernier des cathares Pèire Autier*, Paris, 2006.
- ミシェル・ロクベール『異端カタリ派の歴史』、武藤剛史訳、講談社、2016年。
- 小田内隆「カタリ派教会」像の再検討」、『立命館文学』、669巻、2020年、98–117頁。
- 図師宣忠「異端者の情報にアクセスする—中世南フランスにおける異端審問記録の作成・保管・利用」、『中近世ヨーロッパ史のフロンティア』、2021年、169-192頁。
- 渡邊昌美『異端カタリ派の研究』、岩波書店、1989年。